

# えがお



平成30年度  
No. 8  
2月14日

伊那市  
よりよい  
教育環境  
推進連絡会

## 第3回人権同和教育講座 開催 「女性の人権を考える」 支えあう社会のために

段 丹映子さん講演会

保育協会と伊那市教育委員会の共催により、「マンガでわかりやすく楽しく学ぶ人権」講座を開きました。段さんのジェンダーに関わるマンガは、多くの市町村の「広報」や情報誌「防犯信州」などに掲載されていて、目にすることも多い講師です。



そのせいか、一般の方の参加者も多く、二百三十名ほどが、ニシザワいなっせホールにお集まりくださいました。

あまり意識しなかった「押しつけの男らしさ・女らしさ」に気づかされた講演で、部落差別をはじめ、氾濫する多くの差別に対する自分たちの意識を研ぎ澄ますよい機会になりました。

寄せられた感想には、  
・女性が多く圧倒されましたが、一般席に男性が多くおり一安心、いろいろな意味で納得した講演会でした。

・「男らしさ女らしさ」「性別役割分担」は根強くしぶとく自分の意識にもしつかり残っています。女性としてそれを都合よく使っていることもありです。男性にとっても幸いな点が多くあると思います。男女ともに自立して、人間として生きていける社会であるべきだと思います。

・自分自身の心の奥に、無意識の偏見があることがわかり、ハッとさせられました。写真でもわかりやすく説明していただき、四コマ漫画に関しては、エピソードをまじえながら話してください、本当に勉強になりました。男女共同参画法ができて二〇年が経つわけですが、少しずつ世の中の動きも変わってきたように思います。日々の保育の中でも意識しているわけではなくても「男の子だから」「女の子だから」という見方をしていながらと振り返ってみて思います。一人の人としての成長を大事にしていかなければと感じ、家族のつながりもより良いものになるよう呼びかけていきたいです。

・初めてジェンダーという言葉を知りました。日常何気なく感じていたことが、きちんと形として言われたことにより、やはりこれはおかしいことなのだと思えることができました。「当たり前前」に疑問を抱くこと、考えてみることに大切さを感じることができました。

など、多くのご意見をいただきました。本年度、伊那市の人権同和教育講座では、お話だけではない内容の講座が多かったのですが、多くのご賛同をいただき、おおむね好評でした。

差別解消三法が制定されて三年が経とうとしています。まだまだ本格的に取り組んでいるとは言えない状況ですので、みなさんのご意見を活かしながら、さらに充実していかなければならないと思います。

ご理解とご協力をお願いいたします。



## 高遠小学校

### 「伊澤修二記念音楽祭」の オープニングを飾った高遠囃子

本校には、高遠の伝統や文化を受け継ぐ「地域伝承クラブ」として、「高遠囃子クラブ」があります。高遠囃子クラブは、三年生以上の希望者で結成され、三味線や横笛・鼓などを使って高遠囃子を演奏します。高遠囃子保存に取り組んでおられる「桜奏会」や「高遠囃子保存会婦人部」のみなさんより、熱心にそして丁寧に指導をいただいています。また、昨年度から東京藝術大学の先生や卒業生の方からも指導をいただいています。

本年度藝大の先生から、「伝統の高遠囃子を守っていくことは大切なことであるが、若い世代が楽しめる新しいお囃子を考えてはどうか。子どもたちが考えた原案を曲に仕上げ、それを一分程度のファンファーレとして伊澤修二記念音楽祭の第一部幕開けで披露したらどうか。」と提案をいただきました。

藝大OBの邦楽家の方々に笛や太鼓、三味線などの基本のリズムをいくつか口唱歌（くちしょうが）で教えていただきました。子どもたちは、それを組み合わせたり、繰り返したりして曲作りに挑戦しました。子どもたちが考えた曲を藝大のみなさんに聞いていただき再び指導を受けました。



【太鼓】 トコントコトン	トコントコトン
【鼓】 チョチョボンボン	チョチョボンボン
【笛】 ハイハイハイ	ハイハイハイ
【三味線】 ジャンジャンジャン	ジャンジャンジャン

比較的テンポがゆっくりな高遠囃子、その曲に慣れている子どもたち「もう少しテ

ンポが速いほうが音楽祭のオープニングにふさわしいよ。」などと指導を受けながら曲を完成させてきました。

例年行われている、「高遠城下まつり」や「燈籠祭り」での演奏もあり、そのための練習と平行しての曲作りで大変でしたが無事に完成して、第三十二回伊澤修二記念音楽祭のオープニングを見事に飾ることができました。

平成最後の年にできた新しい高遠囃子、子どもたちによって「高遠コヒガンばやし」と名付けられました。



#### 学校教育目標

清らかで 美しく やさしく  
たくましい 高遠の子ら

#### 登下校時の安心・安全の取り組み

子ども達の登下校は「高遠っ子みまもりたい」の皆さんに見守っていただいています。

「高遠っ子みまもりたい」は、PTA会員・高遠町警部交番・安全協会・防犯協会・公民館・各区分長・老人クラブ・民生児童委員・婦人会：等地域の関係団体の皆さん約二百名により組織されています。また、高遠町内の多くの方が「安心・安全の家」に登録されていて、「みまもりたい」の方と一緒に子ども達の安心・安全を支えてくれています。

また、子どもたちも各学期の始めに集団登校、毎月一回は集団下校を行い安全な登下校について確認しています。



### 西春近南小学校

#### 地域の方々と共に「怒(じよ)」の心を育てる

西春近南小学校では、地域の方々と共に、様々な活動を行っています。「西春近南コミュニティスクール運営支援委員会」「南小子どもを育てる会」「同窓会」「いのちのき(読み聞かせボランティアの会)」「学習支援ボランティア」「クラブの地域講師」などの組織が活動を支えてくださっています。

その中から主な活動を五つ紹介します。

#### 交流作業・交流会



六月中旬に行われ、一校時は、高学年児童が、同窓会、地域の方、祖父母の皆さんと一緒に、草取り、剪定、花の苗植え等を行いました。二校時は、低学年児童が、歌を発表し、肩たたきをしたり、話をしたりして交流しました。一緒に働き、そして交流をしたことで、地域の方とふれ合う機会となりました。

#### 南小体験教室



七月上旬の土曜日に「南小体験教室」が行われました。今年で十二回目となります。十の講座から自分やりたい講座を選び、貴重な体験をすることができました。どの講座も地域の方が講師を務め、指導をしてくださりました。今回は、紙工作、小物作り、ニススポーツ、ちぎり絵、料理、凧作り、革細工、ゲートボール、わら細工、箸作りを体験しました。

#### 音楽会

六月末に行われた校内音楽会では、地域の方々のステージがいくつもあり、合唱や器楽演奏を披露していただきました。みんな楽しみながら演奏に聴き入っていました。



#### クラブ活動

クラブ活動では地域の方々が講師となって、教えてくださいました。子どもたちは、一緒に活動しながら、楽しんでいました。調理、手芸、燻製、ユカイナ、茶道、囲碁将棋、スポーツ、生け花、木工があります。



#### 読み聞かせ 間伐作業 等

子どもたちは、毎月第二火曜日の朝を楽しみにしています。「いろはのき」の皆さんによる読み聞かせがあるからです。また、西春近産区の方々と一緒に活動する区有林の間伐作業もあります。

#### 学校教育目標

「怒」の心をもって自己の生き方を拓く

子どもの育成

- ・よく学び よく考える子ども
- ・思いやりのある やさしい子ども
- ・明るく 元気な子ども

#### 登下校時の安心・安全の取り組み

地域には子どもを守る安心の家がいくつもありあります。また、児童の登下校時には、地域の方々が道路に立ち見守ってくださったり、声をかけたりしてくれています。雪が降った際には、児童の安全を考え、通路の雪かきをすぐにしてくださっています。さらに、本校で取り組んでいる「ハイタッチあいさつ」も地域に広がってきています。



### 東部中学校

#### すず竹の「じよ」

本校の校章には「すず竹」がデザインされている。すず竹は非常に強靱で粘り強い性質を持っている。この校章はすず竹のごとく強靱で粘り強く素直に伸びゆく生徒を象徴している。

〔五十周年記念誌〕より

#### 学校教育目標

- (1) 真剣にねばり強く学習する生徒
- (2) 広く豊かな心を持つ生徒
- (3) 勤労を尊び、仕事に打ち込む生徒

#### 学習に向かう姿

今年度は学校重点目標に『東部中 Pride』を掲げ、この実現のために、「凡事向上」「学力向上」の二つを具体目標として取り組んできました。



東部中の伝統でもある「あいさつ・清掃・歌う声」をいっそう向上させるため、生徒会が中心となって活動しています。

また、日々の授業では生徒が主体的に学習に取り組めるように授業内容を工夫したり、大型電子黒板やタブレットを活用したりして授業を行っています。また、生徒が自学をしたり、分からないところを先生達に質問したりする「ひたすらタイム」も取り入れ、自ら学ぶ雰囲気を一層高めています。

#### 祖父母に感謝する会

東部中学校では五〇年以上前から「祖父母に感謝する会」が行われています。これは、開校間もない頃から校舎を整備したり生徒を見守ったりして



くださる祖父母・地域の方々への感謝の気持ちを表すために続けられているものです。今年も三五〇人を超える祖父母・地域の方においでいただき、中にはこの会のために県外からも足を運ばれる祖父母の方もいました。当日は、学年合唱や演劇部・吹奏楽部・合唱部の発表や、保健委員の肩もみのサービスもあり、日ごろの感謝の気持ちを伝えるとともに、東部中学校の活動の様子をお知らせすることができました。

#### さくらプロジェクト

東部中では、仙台市立高砂中学校との交流を継続しています。これは二〇一一年の震災被害で校地の桜が全滅した高砂中学校に、東部中学生徒会がタカトオコヒガンザクラを寄贈したことから始まったものです。これまで生徒会役員の相互訪問やスカイプを利用した復興プロジェクト行事への参加などをしてきました。



今年度は高砂中の二年生が本校を訪問し、震災被害から復興までの道のりについての発表をしました。今後の両校の交流について議論したりしました。東部中・高砂中の両校にとって、これまでの交流を生かしつつ更に前進する気持ちを育てる機会となりました。

#### 登下校の安全

秋の全国交通安全運動では伊那市東部交通安全協会の方々から、安全な道路横断について呼びかけをしていただきました。



今年度は学校周辺の横断歩道二箇所に横断旗ボックスを設置していただきました。これまでも、地域の方々から歩行や自転車の乗り方について心配していただいております。今後も登下校での歩行・自転車運転に一層気をつけられるように学校全体として取り組んでいきます。